

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報 2014 年第 43 週 (10/20~10/26)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

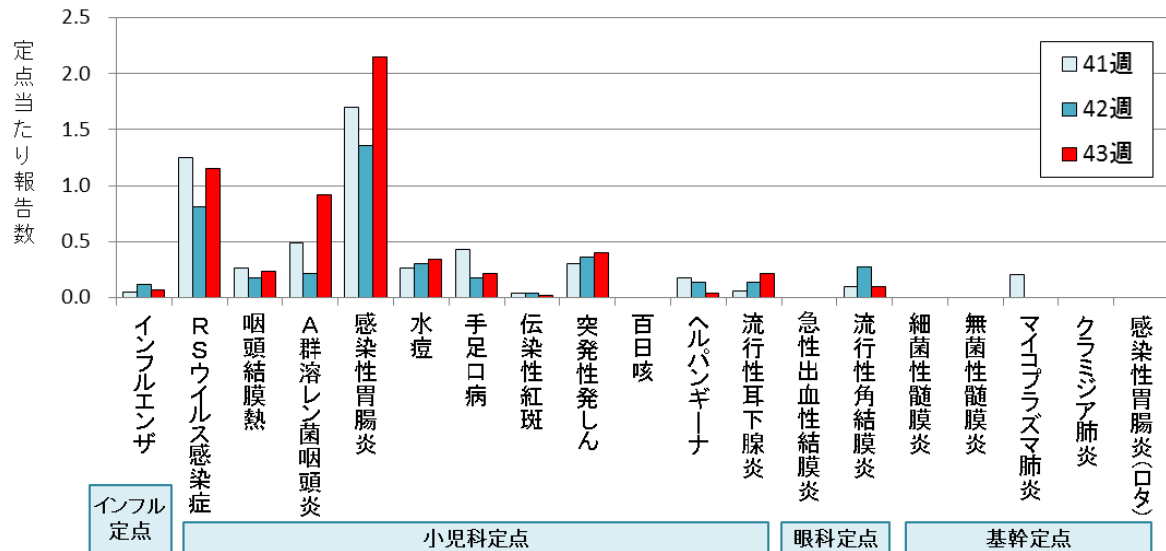
- ◇ 岐阜市でノロウイルス食中毒注意報が発令されました。→トピックス
- ◇ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加しています。冬季に向け注意が必要です。→トピックス
- ◇ RSウイルス感染症は高いレベルで推移しています。

## ■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名		疾患名
<b>警報レベル</b>	なし	<b>注意報レベル</b>	なし

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 13 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例(AIDS)、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘（入院例）1 例

### ● 2014 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	370 例	
3 類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症 32 例
4 類感染症	E 型肝炎	3 例	デング熱 5 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	チクングニア熱	1 例	レジオネラ症 16 例
	つつが虫病	1 例	
5 類感染症	アメーバ赤痢	13 例	水痘（入院例）1 例
	急性脳炎	1 例	梅毒 9 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	破傷風 1 例
	後天性免疫不全症候群	20 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	ジアルジア症	1 例	風しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	麻しん 3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	18 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

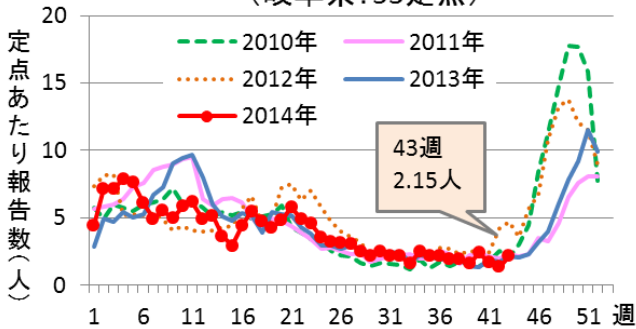
■トピックス  
《感染性胃腸炎》

◆岐阜市でノロウイルス食中毒注意報が発令されました

岐阜市保健所管内において、第43週の小児科定点医療機関（9 定点）からの感染性胃腸炎患者の報告数が前週と比較して3倍以上となり、患者の増加に伴いノロウイルス食中毒も増える傾向にあることから、岐阜市はノロウイルス食中毒注意報を発令しました。

県全体（53 定点）では、定点当たり 2.15 人と目立った増加は認められませんが、例年 11 月に入ると患者数が急増しています。ノロウイルスの流行に備え、今から予防対策が必要です。

感染性胃腸炎患者報告数  
(岐阜県:53 定点)



保健所別感染性胃腸炎患者報告数(53 定点)

( ) 内は定点あたり報告数

保健所	40 週	41 週	42 週	43 週
岐阜市	23 (2.56)	29 (3.22)	11 (1.22)	33 (3.67)
岐 阜	30 (3.00)	23 (2.30)	22 (2.20)	30 (3.00)
西 濃	16 (1.78)	7 (0.78)	2 (0.22)	6 (0.67)
関	26 (5.20)	10 (2.00)	17 (3.40)	15 (3.00)
中 濃	1 (0.20)	1 (0.20)	2 (0.40)	0 ( - )
東 濃	9 (1.80)	5 (1.00)	12 (2.40)	13 (2.60)
恵 那	20 (5.00)	11 (2.75)	6 (1.50)	12 (3.00)
飛 騨	2 (0.33)	4 (0.67)	0 ( - )	5 (0.83)
岐阜県	127 (2.40)	90 (1.70)	72 (1.36)	114 (2.15)

ノロウイルス感染予防のポイント

ウイルスは目に見えません！十分な予防が必要です！

★手洗いの徹底

……トイレの後、調理前、食事前、汚物処理後などには、石けんと流水でしっかり手を洗い、手についたウイルスを落とします。手洗いは最も重要な予防方法です。

★汚物の処理は適切に

……患者の嘔吐物や便を処理する場合は、使い捨てのマスクや手袋を使用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取った後、塩素系消毒薬で消毒を行います。

★消毒は次亜塩素酸ナトリウムまたは熱湯で

……調理器具、患者の便や嘔吐物で汚染された衣類・タオルなどは、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系消毒薬）または 85℃・1 分間以上の加熱により消毒します。消毒用エタノール（アルコール）は、ノロウイルスにはあまり効果がないといわれています。

★感染症法における取扱い

感染性胃腸炎は、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 3,100 か所（岐阜県 53 か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html> (保健医療課 HP)

## 《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

### ◆ 患者報告数が増加しています

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、例年、冬季と春～初夏に患者数の増加がみられます。

第43週の県内小児科定点医療機関（53 定点）からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の報告は、49人（定点当たり 0.92 人）と増加の兆しがみられています。

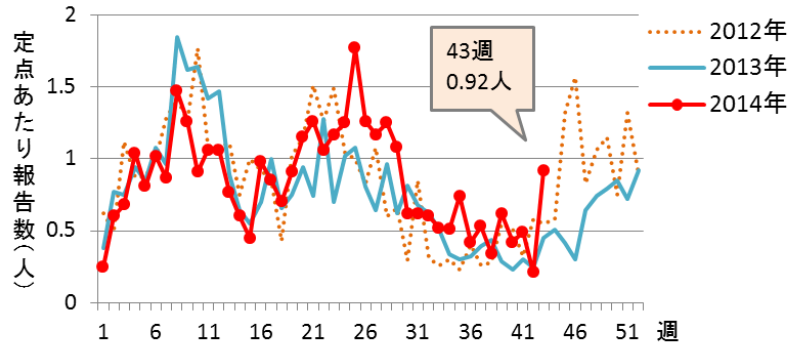
幅広い年齢の患者が報告されており、ここ4週間では5～7歳で多く報告されています。

### ◆ 手洗いを励行し、保育所、学校、家庭内での感染予防を

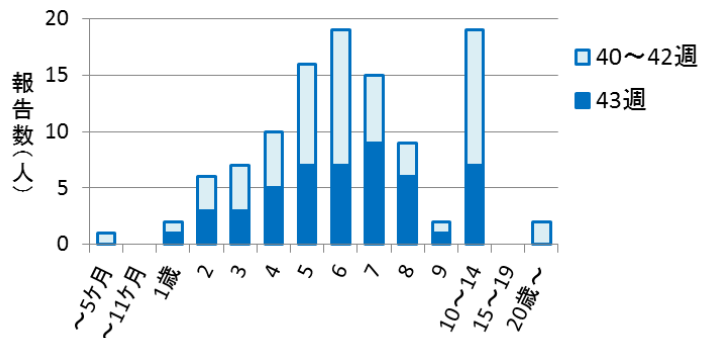
病気の原因となる菌は、患者の鼻水や唾液に排出され、飛沫感染（咳やくしゃみのしぶきを吸い込む）や接触感染（菌のついた手で口や鼻を触る）により感染が拡大します。

予防としては、手洗い・うがいを励行し、兄弟など身近に患者がいる場合は濃厚な接触は避けることが重要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数  
(岐阜県:53定点)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎年齢別報告数  
(岐阜県 53定点 2014年40～43週 n=108)



### ★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌の感染による感染症です。2～5日の潜伏期の後、突然の発熱とどのの痛みで発症し、嘔吐を伴うこともあります。治療には抗生物質が有効ですので、早めの受診が大切です。

### ★ 感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouh-ou-kijun.html> (保健医療課 HP)

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>